

オープンソースコミュニティ の運営について

2018/11/17

DEN(Drupal Experience Network) Camp Japan 2018

楠目昌弘

自己紹介

- 北海道出身。現在大田区池上在住。
- 2008年7月に脊椎動静脈瘤（せきついどうじょうみゃくろう）を発症。
- 職業は個人でWeb関連（ディレクター系）の仕事と某NPO法人の理事をしています。



今日のお話

地元（大田区）にコワーキングスペースを拠点にオープンソースのコミュニティ

- 羽田WordPressMeetup
- DEN(DrupalExperienceNetwork) (DrupalMeetup羽田)

この2つのコミュニティの運営に関わって得た知見（というか経験）をさくっとお話します。

大田区で地域活動
やってました。

(今もやってます)

大田区障害者スポーツ倶楽部

障害者が気軽に地元でスポーツが楽しめる
場を提供する為に2010年に立ち上げました。

大田区民活動コーディネーターネット ワーク

大田区内で活動している非営利団体向けに
事業運営、広報、スタッフ探し等のノウハ
ウを共有する為に2012年に立ち上げました。

活動していて痛感した
事。

コミュニティ活動って
拠点が大事だね。

3年前、ひとつの大きな
出来事が・・・

大田区にコワーキングスペースが
できた！！

そこで早速仕事、活動の
拠点とさせて頂く事に。

- 拠点って大事だよね。
- biz BEACH CoWorking

• 〒144-0035

東京都大田区南蒲田1-20-20 大
田区産業プラザPiO 2F



それで2年前、勉強会
を立ち上げました。

WordPressMeetup羽田

- 最近名称がMeetupに変更になりました。
- 25回くらいやっています。
- 10時～19時くらいまでやっています。
- 参加者は25～30人程度



こんな感じでやります。

- 内容がバライティに富んでいます。
- 初心者向けハンズオン
- アンカンファレンス
- ショートセッション・LT
- もくもく会
- 参加者はエンジニア2割デザイナー3割プログラマー2割その他3割



そして1年前誘われて
参加しました。

DrupalMeetup 羽田

- お陰様で毎回大盛況です。
- 参加者数は毎回30名以上
- 参加者の9割がエンジニア



活動の指針

- 「WordPress チャプタープログラム」
<https://ja.wordpress.org/get-involved/meetup/>
- Drupal の創始者ドリース バイテルト氏のブログ
<https://ja.wordpress.org/get-involved/meetup/>

そこで考えました。

- この2つのコミュニティ色々な事が非常に対照的。
- 共通点が分かれば面白いかも。
- 現在の自分の仕事の職域
(ディレクター、NPOの運営)とコミュニティの運営。
やってみてあんまりかわらない
事を実感。



コミュニティ
運営で大事な
ものって何か
なって考える。

価値観の共有

目標の共有

体験の共有

経験・目標・価値観
を共有する為に

イベントの実施がいいかも。

- DEN(Drupal Experience Network) Camp Japan 2018
- ということで
- 今回のイベントの宣伝の為に参加可能なあらゆるイベントに参加しました。

この数ヶ月間参加した イベントの数々

- TokyoWordPressMeetup
- WordCampTokyo
- MTDDCTokyo
- DrupalMeetupTokyo
- Web Design Creative Plus
- PHP勉強会
- CSSnite
- その他諸々



イベント巡り をして わかった事

イベントの告知はいろんな人と知り合う良いきっかけになる。

継続しているイベント、コミュニティには色々学べるところが多い。

オープンソースのコミュニティはやっぱりエンジニアが多い。

まとめ

必要な事

- 続ける事
(継続性を担保する事)
- きつくなならない程度の
「繋がり」が大事。
(決して「縛り」ではない)



あとと思った事

- 楽しいなと思えないとしんどいかも。



これからも
がんばります。

ご清聴ありがとう
ございました。